



8月定例会 一般質問応援者の皆さま

＝ どあいそフ ＝

日ごとに秋が深まってきまじに皆様いかがお過ごしでしょうか。

先月開会した8月定例会では二回目となる一般質問を行うことが出来た。

相変わらず不慣れな質問でありましたが、後援会の皆様をはじめ多くの傍聴応援を賜り厚く感謝申し上げます。詳細については後述しますが、主題は長崎県の重要課題である人口減少問題。難しい課題ではありますが、避けては通れません。

人口減少は国全体の問題でがらと甘受するのではなく、どうすれば人口減少に歯止めがかかるのか、真正面から課題を切り止め打開策を講じていくことが重要ではないでしょうか。これから前向きな政策提言を行っていく必要を痛感しています。

さて、早いもので通年議会元年も残り2ヶ月になりました。

県政史上初となる通年議会は5月23日よりスタートし、議会基本条例の制定をはじめとする県議会及び県政の改革は日々継続中でありま。

私はその改革の流れの中、先輩方のご指導を賜りながら、まいし歩みを進めております。「私は00歳に達した」と胸を張ってご報告できるものはまだありませんが、県議として政界長崎と県民のためにかかわり続けております。

5年前の初心を忘れることなく、今後と頑張り、参ります。 深堀 ひろし



平成24年8月 長崎県議会定例会 レポート



8月29日から10月15日までの長丁場となった8月定例会が終了しました。

今定例会は総額49億7,654万円の一般会計補正予算や長崎県看護職員修学資金貸与条例の一部改正等が主な議案でありました。

また、開会日には、去る8月21日に国が「諫早湾干拓開門調査に係る環境影響評価書」を公表したことについて、これは長崎県側の意向を蔑ろにした行為であり看過することは出来ないことから、これらに抗議する意見書を採択しました。

その他、旧長崎南商業高等学校の財産を処分(長崎市へ無償提供)する事件議案等も原案可決しました。

平成24年度8月補正予算(案)の主な内容

●障害者自立支援対策臨時特例基金関連事業

○新法移行支援事業費・・・4億6,875万4千円

障害者自立支援法の新体系サービスの充実等を図るため、障害福祉施設の増築・改修等に要する経費を助成

・補助率 10/10

○福祉・介護職員処遇改善等事業費

・・・1億8,688万3千円

障害者の工賃引き上げのため、障害福祉施設が生産する商品の供給能力を向上させるための設備導入に要する経費を助成

・補助率 10/10

●安心こども基金関連事業

○幼稚園耐震改築工事費・・・2億6076万円4千円

認定こども園へ移行した(又は移行を予定している)私立幼稚園の耐震化を促進するため、耐震改築に要する経費を助成

・補助対象 4施設

●災害復旧費・・・2億720万円

本年6月の大雨等による被災施設の復旧

・農地、農業施設 1億7,000万円
・林道 3,720万円

●自然災害防止事業費・・・1億2,960万円

本年6月の大雨等による山腹崩壊等の復旧、災害防止工事の実施に要する経費

●原子力災害対策整備事業費・・・1億5,144万円8千円

県地域防災計画の見直し等を踏まえ、原子力災害に対する防災対策として、防災ネットワーク機器の整備等を実施

・衛星回線用設備、専用回線機器及びTV会議システム等の設置 3,911万7千円
・避難シュミレーション調査の実施 4千万円
・防災資機材の整備 5,519万9千円
・広域防災訓練等 1,713万2千円

条例議案等の主な内容

○長崎県高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に係る信号機等に関する基準を定める条例(警察本部)

高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律第36条第2項の規定に基づく信号機等に関する基準について条例を制定するもの。

○長崎県看護職員修学資金貸与条例の一部を改正する条例(医療人材対策室)

介護サービスの基盤強化のための介護保険等の一部を改正する法律による介護保険法の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの。

○長崎県食品衛生に関する条例の一部を改正する条例(生活衛生課)

食品衛生法施行令等が改正されたことに伴い、所要の改正を行うもの。

○風致地区内における建築等の規制に関する条例を廃止する条例(都市計画課)

国土交通省関係政令等の整備等に関する政令が改正されたことに伴い、条例を廃止するもの。

○長崎県地方卸売市場長崎魚市場条例の一部を改正する条例(水産振興課)

県が開設する長崎魚市場において、暴力団員等が活動することを防止するため、所要の改正を行うもの。

意見書

今議会に上程された意見書については採決の結果採択されました。

・私学助成制度の充実強化等について
・石木ダム事業認定手続きの進展について

等



県政一般質問

【項目】

人口減少対策について
監査結果に対する対応策(公用車の更新、活用)について
日常生活自立支援事業について

I 人口減少対策について

質問 最大176万人いた本県の人口は、3月末で143万人まで減少。人口推計によれば2040年には100万人を下回ると予想されている。この人口減少を知事は重要課題と認識しているか、また、どのように対処していくつもりか。

回答 人口減少は我が国全体の趨勢であり、本県は全国より先行している状態である。今後は人口減少対策だけではなく、人口減少社会を見据えた様々な対策を推進しなければならない。また、人口減少の最大の要因は、県内に良質な雇用の場が確保できないことであり、このような課題に集中的かつ重点的に取り組んでいきたい。

質問 長崎県の道標として総合計画が策定されているが、この総合計画を100%実践したときに本県の人口はどのように推移するのか。

回答 総合計画で掲げている方策は人口減少の要因となる課題を解決するものであり、人口減少の実数を具体的に幾ら抑制するという考え方ではない。従って、具体的な数値は算定していない。

質問 これまでの総合計画を否定するつもりはないが、現状は九州で断トツの人口減少率である。この状態を打破するためには抜本的な対策の見直しというか、具体的な数値目標を掲げる必要があると考える。

人口減少の要因は雇用の場の問題だけではなく、出生率の低下、晩婚化、非婚化、大学生の流出などなど多種多様な課題が存在している。その要因毎に具体的な数値目標を掲げて、それを積み上げた結果、例えば「2030年長崎県人口120万人」など、具体的な数値目標を掲げることを提案する。

II 監査結果に対する対応策 (公用車の更新、活用)について

質問 県庁内で保有している公用車は実に809台。先般実施された行政監査においては、車両の稼働率や適正配置について指摘を受けているが、稼働率の考え方や配置基準の有無についてお尋ねしたい。

回答 これまで稼働率の考え方について明確な定義を行っていなかった。今年度中に全庁的な公用車の稼働率等に関する調査を実施したい。また、配置基準については、統一的な基準を設けていない。

質問 監査結果を見ると公用車全体の稼働率は64%であり、約4割の公用車が稼働率50%に達していなかった。この数字を見たとき本当に公用車が適正に配置されているのか疑問を感じる。特に適正な配置基準が設けられていない実情を考えれば、今後も改善されないと思われる。したがって、早急に客観的な配置基準を策定することを提案する。

回答 離島地区を含めた全庁的な基準を設定するのは難しいが、指摘のとおり稼働率の低い車両もあることから、何らかの目安となる管理方法を検討したい。



III 日常生活自立支援事業について

質問 この事業は、認知症や知的・精神障害によって判断能力が十分でないため適切な福祉サービスを受けられない方々への支援事業である。このサービスの利用を希望しても受けられないという声を聞いたが事実なのか。

回答 この事業は県からの補助を受け県社会福祉協議会が実施しているものであるが、長崎市社会福祉協議会へ相談した方のうち待機状態にある方が平成23年度末で40名いると聞いている。

質問 なぜこのような状況を看過してきたのか。助けを求めている方々をこれ以上待たせる訳にはいかない。一刻も早く改善を求める。

回答 県内それぞれの地区で状況は異なるが、なぜ長崎地区にだけ待機者が出るのかということも検証しながら、早期の待機解消を図ることを求めている。

質問 待機が発生している最大の要因は予算不足と聞いている。平成21年以降、常に待機者が発生していたにも関わらず、相談員等を増員出来るような予算措置はされていない。そして、今年度に至っては、対前年比マイナス5%。これでは、国が示す相談員の目安人員を配置出来る筈がない。予算面も含め、改善策を早急に検討するよう強く求める。



環境生活委員会における私の質問概要

長崎市内中心部のトラックベイについて

○交通渋滞の緩和や交通事故防止の観点から設置されているトラックベイの設置状況及び現状の課題(違法駐車)等を確認。

⇒ 長崎市内中心部には6ヵ所(国道①、市道⑤)のトラックベイが設置されているが、それぞれ道路管理者が設置管理しており課題等について

は集約していない。

なお、違法駐車に関しては、トラックベイであることを明確に示すよう路面を着色するなどの対策を長崎市と連携して実施したい。

○トラックベイの設置は、県や市が各々単独で検討するのではなく、地域毎に国・県・市が連携して設置場所や設置数を検討すべきものである。

また、その検討については運輸業界の意見も踏まえるべきであり、そのような場を早急に設置することを要望する。



8/1~3 南相馬市視察
(本県からの応援派遣職員を激励)



9/30 民主党県連常任幹事会

10/22

民主党街頭宣活動



9/15 九電ユニオン分会役員研修



8/31

長崎電業労組大会



9/7 九電工労組役員研修会

写真で振り返る
深堀ひろし
活動日記



9/22

長崎私交通
労組定期大会



10/3

生活環境委員会
県内視察



9/7 三菱電機労組
あいさつ活動



9/19 国体長崎県選手団結団壮行式



9/19 県民表彰授賞式(内村選手とともに)



9/29 民主党タウンミーティング



ちよと
ひとと
いせ

年齢はいくつ?と言われそうですが、夏の恒例行事となった「軍艦島カップビーチバレー大会」へ今年も出場してしまいました。チーム名「やっちゅうファイト!!」(※やっちゅう⇒山里中学校)

参加チーム45チーム中、断トツの最年長チーム(平均年齢47才⇒山里中学校同級生)。若者に交じってのビーチバレーは体力的に厳しいですが、勝敗に関係なく大騒ぎして大会を大いに盛り上げました。来年も懲りずに頑張るぞ!!



ご相談は
お気軽に

長崎県議会議員

深堀ひろし

(連絡所)

長崎市城山町3-19

TEL/FAX 095-800-3780

*インターネットでも深堀ひろしの活動報告をご覧いただけます

<http://www.fukahorihiroshi.net/>

